

中小企業振興会議提言・報告に基づく
H28中小企業振興施策実施状況報告

平成29年7月
経済部

東大阪市第2次総合計画後期基本計画

中小企業のまち
東大阪市

部門別計画 第4部 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり

第21節 モノづくりが元気なまち

- 4-21-1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- 4-21-2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- 4-21-3 モノづくり企業の販路開拓を応援します
- 4-21-4 地域経済の連携、交流に取り組みます

第22節 買い物しやすいまち

- 4-22-1 特色ある商業集積地域づくりを支援します
- 4-22-2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します
- 4-22-3 地域資源の活用で集客力を強化します
- 4-22-4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます

第23節 農業と農地空間を大切にすまち

- 4-23-1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- 4-23-2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信します
- 4-23-3 農業と農地空間の担い手を育てます
- 4-23-4 農地空間の持つ価値や機能を生かします
- 4-23-5 有害鳥獣被害への対策を進めます

第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- 4-24-1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- 4-24-2 金融面から産業活動を支援します
- 4-24-3 経済施策情報を分かりやすく発信します
- 4-24-4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

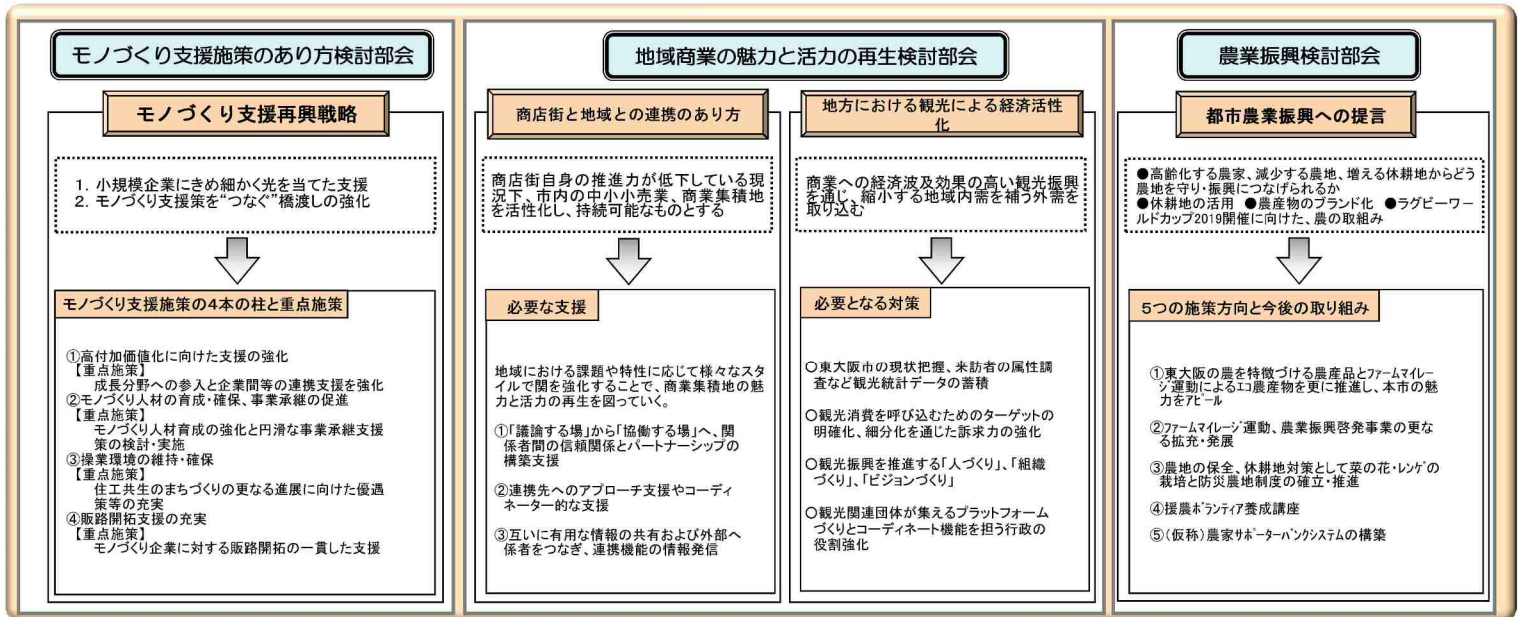
- 4-25-1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 4-25-2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 4-25-3 若者の就業を応援します
- 4-25-4 就職に困っている人の雇用を促します
- 4-25-5 高齢者の生きがい就労を応援します

第2部 市民文化を育むまちづくり

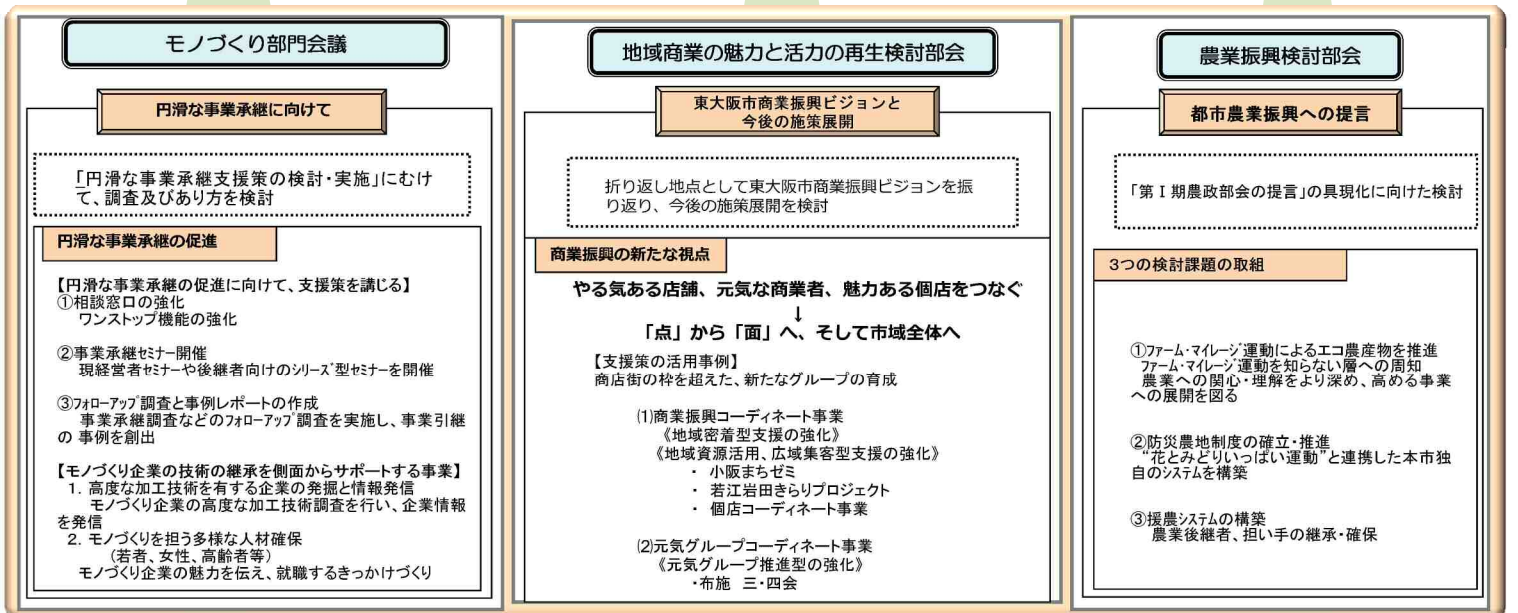
第8節 多くの国・地域や二つの交流が育まれるまち

- 2-8-5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します

平成27年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する提言（概要）



平成28年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する報告（概要）



振興会議の提案にもとづく具体的な施策の構築・推進

「モノづくりが元気なまち」「雇用が安定し働きやすいまち」「買い物しやすい街」「農業と農地空間を大切にすまち」

(中小企業振興条例)

地域経済を活性化し豊かで住みよいまちの実現

(総合計画後期基本計画)

活力ある産業社会を切り拓くまちづくりの実現

(東大阪市第2次総合計画 将来都市像)

「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」

【様式の見方】

所属	所属名を記載
----	--------

No.	通しNo.
-----	-------

事業名	事業名を記載	平成28年度 目標達成度
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載

H28 決算	H28決算額を記載	H29 予算	H29予算額を記載
-----------	-----------	-----------	-----------

提言・報告 施策	東大阪市中小企業振興会議より提案・報告された施策(4頁)に対応する施策番号を記載
-------------	--

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらし
第3次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらし番号を記載		

指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載				指標②	同左			
指標の 説明・計算式	指標の説明・計算式等を記載				指標の 説明・計算式	同左			
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	各年度の目標を記載			平成28年度目標に対する達成度を記載。 (100%=A、80~100%未満=B、50~80%未満=C、50%未満=D)	目標②	同左			
実績①	各年度の実績を記載				実績②				
事業実績 (平成28年度)	平成28年度の取り組み内容を記載								
課題・問題点	平成28年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載								
平成29年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載								

東大阪中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえた施策一覧

平成27年 東大阪市の中小企業の振興に関する提言 (評価A・Bの割合 79.3%)		
モノづくり支援施策あり方検討部会 (同割合 73.7%)		
【モノづくり支援再興戦略】		
I. モノづくり支援施策の4本の柱と重点施策		
	評価	掲載頁
① 高付加価値化に向けた支援の強化		
医工連携プロジェクト創出事業	A	5
東大阪デザインプロジェクト事業	A	5
高付加価値化支援事業	B	6
成長産業参入支援事業	B	6
知的財産支援事業	D	7
② モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進		
次世代モノづくり啓発事業	A	7
ビジネスセミナー開催経費	A	8
モノづくり開発研究会支援事業	B	8
若年者等就業支援事業	D	9
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	D	9
③ 創業環境の維持・確保		
モノづくり立地促進補助事業	A	10
住工共生のまちづくり事業	D	11
④ 販路開拓支援の充実		
東大阪デザインプロジェクト事業	A	5
クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	B	11
国内外販路拡大事業	B	12
東大阪市技術交流プラザ事業	B	13
成長産業参入支援事業	B	6
東大阪ブランド推進機構補助事業	B	13
モノづくりワンストップ推進事業	C	13
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 66.7%)		
II. 商店街と地域との連携の在り方		
	評価	掲載頁
① 「議論する場」から「協働する場」へ、事業者間の信頼関係とパートナーシップの構築関係		
商業振興コーディネーター事業	A	14
地域密着型支援事業	C	14
② 事業者間連携についてのアプローチ支援やコーディネーター的な支援		
商業振興コーディネーター事業	A	14
農業振興検討部会 (同割合 100.0%)		
III. 都市農業振興への提言		
5つの施策方向と今後の取り組み		
	評価	掲載頁
① 東大阪の農を特徴づける農産品とファームマイルージ運動によるエコ農産物を更に推進し、本市の魅力をアピール		
都市農業活性化農地活用事業	A	17
農業啓発推進事業	A	18
② ファームマイルージ運動、農業振興啓発事業の更なる拡充・発展		
農業啓発推進事業	A	18
③ 農地の保全、休耕地対策として菜の花・レンゲの栽培と防災農地制度の確立・推進		
都市農業活性化農地活用事業	A	17
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	17
④ 援農ボランティア養成講座		
農業啓発推進事業	A	18
⑤ (仮称)農家サポーターバンクシステムの構築		
農業啓発推進事業	A	18

平成28年 東大阪市中企業振興会議最終報告 (評価A・Bの割合 93.8%)		
モノづくり部門会議 (同割合 50.0%)		
IV. 円滑な事業承継に向けて		
	評価	掲載頁
① 相談窓口の強化:ワンストップ機能の強化		
モノづくりワンストップ推進事業	C	13
② 事業承継セミナー開催:現経営者セミナーや後継者向けのシリーズ型セミナーを開催		
ビジネスセミナー開催経費	A	8
③ フォローアップ調査と事例レポートの作成:事業承継調査などのフォローアップ調査を実施し、事業引継の事例を創出		
H29年度事業	-	-
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 100.0%)		
V. 東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開		
やる気ある店舗、元気な事業者、魅力ある個店をつなぐ「点」から「面」へ、そして市域全体へ		
	評価	掲載頁
① 商店街の枠にとらわれない新たなグループへの支援		
観光振興事業	A	15
商業振興コーディネーター事業	A	14
元気グループ推進支援事業	A	15
② 新たな組織を担える人づくりへの支援		
商業振興コーディネーター事業	A	14
元気グループ推進支援事業	A	15
個店経営者育成セミナー事業	B	16
③ 個店への支援から地域商業全体へ波及する振興策の提供		
空き店舗活用促進事業	A	16
商業振興コーディネーター事業	A	14
個店経営者育成セミナー事業	B	16
農業振興検討部会 (同割合 100.0%)		
VI. 都市農業振興への提言		
3つの検討課題の取組		
	評価	掲載頁
① ファーム・マイルージ運動によるエコ農産物を推進		
都市農業活性化農地活用事業	A	17
農業啓発推進事業	A	18
② 防災農地制度の確立・推進		
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	17
農業啓発推進事業	A	18
③ 援農システムの構築		
農業啓発推進事業	A	18

※各施策の評価A・Bの割合は、評価「—」はカウントしていない

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	1
----	--------------	-----	---

事業名	医工連携プロジェクト創出事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構にて、医療分野への参入に意欲的なモノづくり企業等から構成される研究会を組成し、様々な情報提供などを進めることで、医工連携の事業化を促進していく。また、市内モノづくり企業から助成対象案件を公募し、医工連携事業化促進補助金を交付し、支援する。【高付加価値化に向けた支援の強化】	A

H28 決算	4,649千円	H29 予算	11,897千円
-----------	---------	-----------	----------

提言・報告 施策	I ①			
-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	健康、医療、介護分野における開発ニーズ案件の情報提供数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①		10件	10件	A	目標②				
実績①		19件	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

①東大阪医工連携研究会(市内企業35社 サポート会員13社 登録)セミナーの開催及び展示会の実施。
→3月10日 大阪大学「医療機器開発」分科会 モノづくり展示会を開催
出展企業:10社 参加者:254名(学外196名/学内58名/うち医労者30名)

②医工連携創出プロジェクト補助金事業
3社からの申請があり、補助金を支出。

改善すべき点

補助金の申請が少なく、運用面でも規制が多かったため、運用面の改善が必要。
研究会では座学形式が多く、他の取組とあまり変わらないため、参加型のセミナー等にするよう検討。

平成29年度に
向けた改善策

R&Dをしていくうえで必要な知財調査についての費用を研究会予算に追加。
医工連携アドバイザーとともに企業を訪問し、補助金の活用の促進、課題解決にむけたアドバイスをを行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	2
----	--------------	-----	---

事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、本市製造業の高い技術力と融合させていくことで、付加価値の高いオリジナル製品を創出する。	A

H28 決算	3,000千円	H29 予算	3,400千円
-----------	---------	-----------	---------

提言・報告 施策	I ①	I ④		
-------------	-----	-----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	本プロジェクトを通じて誕生・改良した製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3製品	3製品	3製品	A	目標②				
実績①	3製品	3製品	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

【プロモーション】
東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2016」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:7,378人)

【デザイン製品開発】
デザイン製品を志向する市内中小企業に対し、新製品開発を実施。(3製品)

【セミナー・アドバイス会】
諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などの解説と併せて製品アドバイス会を実施。(2回開催)

改善すべき点

デザイン資源への重要性を啓発していくとともに、デザイン製品開発に参入できる環境を整えていく必要がある。

平成29年度に
向けた改善策

・デザイナーやクリエイターとの交流の場を提供し、市内モノづくり企業がデザイン製品開発に参入できる環境を整える

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	3
----	--------------	-----	---

事業名	高付加価値化支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内中小製造業者が単独又は2社以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造や技術研究を促進する。	B

H28 決算	3,966千円	H29 予算	7,364千円
-----------	---------	-----------	---------

提言・報告 施策	I ①			
-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	高付加価値化促進事業助成金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10件	10件	10件	B	目標②				
実績①	10件	8件	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	高付加価値化促進事業一般枠7件、産学連携枠1件の計8件を採択。環境配慮型については申請なし。
改善すべき点	補助事業終了後の、企業フォローアップが不十分である点。
平成29年度に 向けた改善策	一般枠については、最終製品の開発に注力するため、技術開発ではなく製品開発をする事業者への支援とする。 ワンストップコーディネーターによる販路開拓までのフォローアップを行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	4
----	--------------	-----	---

事業名	成長産業参入支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	航空・宇宙、ロボット、エネルギー、医療・福祉機器等、近年成長著しい分野への参入に向けたセミナー・見学会等を開催。メールマガジンでも関連する情報を提供する。	B

H28 決算	201千円	H29 予算	-
-----------	-------	-----------	---

提言・報告 施策	I ①	I ④		
-------------	-----	-----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	環境ビジネス研究会登録企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	310社	310社		B	目標②				
実績①	288社	385社			実績②				

事業実績 (平成28年度)	現在の登録企業数は385社。
改善すべき点	企業見学会等負担を伴う場合、受け入れ先がなかなかないのが現状。
平成29年度に 向けた改善策	医工連携プロジェクト創出事業へ再編

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	5
----	--------------	-----	---

事業名	産業財産権活用支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内製造業が知的財産の保護および権利化を促進させるため国内で特許権を取得する際の出願審査請求に経費の一部を助成するもの。	D

H28 決算	235千円	H29 予算	300千円
-----------	-------	-----------	-------

提言・報告 施策	I ①			
-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②				
実績①	1件	3件	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	補助金の利用条件が緩和されたこともあり、問い合わせ件数は増加している。
------------------	-------------------------------------

改善すべき点	補助金の概要を理解していただけないことが多く、申請にまで至らないケースがほとんどである。産業財産権活用事業補助金と銘打っているものの、現状では特許権のみが対象である。今後、対象となる権利を拡大するのかがどうも検討課題である。
--------	--

平成29年度に 向けた改善策	平成28年度から当該補助金を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構で行っており、引き続き研究開発事業等と関連し、周知をはかる。 29年度は、5月1日市政だよりおよび産業創造勤労者支援機構のHPにおいて公募している。注意点や間違い点について利用者にわかりやすい表記を行った。
-------------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	6
----	--------------	-----	---

事業名	次世代モノづくり啓発事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の実施や少年少女発明クラブの支援により、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。	A

H28 決算	教育支援事業 5,742千円 少年少女発明クラブ 568千円	H29 予算	教育支援事業 5,700千円 少年少女発明クラブ 568千円
-----------	-----------------------------------	-----------	-----------------------------------

提言・報告 施策	I ②			
-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5,000人	5,000人	5,000人	A	目標②	85%	85%	85%	B
実績①	5,146人	5,058人	-		実績②	80%	80%	-	

事業実績 (平成28年度)	【モノづくり教育支援事業】 のべ70校、165クラス、5,058人が当事業に参加した。 【少年少女発明クラブ】 開催回数28回、のべ639人が参加した。
------------------	---

改善すべき点	【モノづくり教育支援事業】 参加者の増加を図りたいが、その分企業への負担が増えてしまう。体験メニューを増やすことで、負担を分散させる必要がある。 【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。
--------	---

平成29年度に 向けた改善策	【モノづくり教育支援事業】 体験教室を広く周知し、参加企業を増やすことで参加者の増加を図って参りたい。 【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。
-------------------	---

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	7
----	--------------	-----	---

事業名	ビジネスセミナー開催経費	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	A

H28 決算	1,368千円	H29 予算	1,500千円	提言・報告 施策	I ②	IV ②		
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	------	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

指標①	ビジネスセミナー参加数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	500社	500社	500社	A	目標②				
実績①	385社	718社	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	本年は29回セミナーを開催し、延べ718名の参加があった。
改善すべき点	講師の実力により満足度が左右されるので、見極めが必要。
平成29年度に 向けた改善策	その時々、国の、経済の動向をみながらセミナー内容を検討する。29年度は、「稼ぐチカラ」をテーマに、企業の一助となるようなセミナーを開催する。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	8
----	--------------	-----	---

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会「中堅人材育成・金属コース」「中堅人材育成・高分子コース」により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	B

H28 決算	350千円	H29 予算	350千円	提言・報告 施策	I ②			
-----------	-------	-----------	-------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	参加者の満足度(大変満足・満足の割合)				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②				
実績①	100%	85%	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	東大阪市立産業技術支援センターにおいて、講義と実習を交えた技術研修である、「中堅人材育成・金属コース、中堅人材育成・高分子コース」を実施。
改善すべき点	講義と実習のバランスをどう保つのか。また、外部機関との連携をもっと取り入れていく必要がある。
平成29年度に 向けた改善策	アンケートの結果を研修内容に反映させる。また、特徴のある市外企業や外部の公的機関への視察を検討している。

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	9
----	-------------	-----	---

事業名	若年者等就業支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	情報誌の発刊や研修、就職面接会の開催等により、若年者等の早期就職、 常用雇用の実現、雇用機会の創出を支援する。	D

H28 決算	10,000千円	H29 予算	10,000千円	提言・報告 施策	I ②		
-----------	----------	-----------	----------	-------------	-----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

指標①	就労支援によって就職した人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	80人	80人	80人	D	目標②				
実績①	39人	36人	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

・モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につないだ。
(期間)平成28年10月14日～11月11日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術訓練校、実習受入協力企業
(参加者数) 20人 (就職者数) 16人

・就活応援フェスティバル…就職必勝セミナーと求人企業・事業所合同説明会を併せて実施した。
(日時)平成28年8月23日 12:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」
(参加企業数) 25社 (参加者数) 91人 (就職者数) 6人

改善すべき点

ここ数年の求職者の売り手市場の中で、参加者数の減少が続いており、そのことにより就職者数も伸び悩んでいる。一方で、市内企業は人手不足に悩んでおり、イベントに参加した者が就職できる確率は高くなっている。このことから、参加者数を増やすことが重要な課題となっている。

平成29年度に向けた改善策

限られた予算の中で、ハローワーク布施の前で求職者にチラシを配るなど、受託事業者には地道な努力をしていただいている。今後は、今年度開設される布施の就活応援窓口やその他関係機関等を通じた広報についても検討してゆきたい。

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	10
----	-------------	-----	----

事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。	D

H28 決算	12,000千円	H29 予算	23,000千円	提言・報告 施策	I ②		
-----------	----------	-----------	----------	-------------	-----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標① (ニーズ調査)	100人	100人		D	目標②				
実績①	102社	37人	-		実績②				

事業実績
(平成28年度)

○東大阪市若者就活応援事業 企業・人材交流事業
・就活スタート応援イベント「カフェトーク」in梅田…合同企業説明会、企業プレゼンテーション、セミナー、企業の若手社員と参加者との意見交換会、履歴書証明写真撮影会、就職活動個別相談等を実施
(日時)平成29年2月21日 12:00～17:00 (場所)大阪市北区 ラグナヴェールプレミア
(参加企業) 4社 (参加者数) 51人(うち大学3年生以下32人、4年生7人、既卒者等12人)

・就活スタート応援イベント合同企業説明会「カフェトーク」…合同企業説明会、セミナー、就職活動個別相談等を実施
(日時)平成29年3月10日 10:00～17:00 (場所)大阪市中央区 パソナグループビル
(参加企業数) 12社 (参加者数) 41人(うち大学3年生以下20人、4年生6人、既卒者等15人)

○東大阪市若者就活応援事業 モノづくりのまち東大阪プロモーション事業
・「モノづくりのまち東大阪」を知らない若者にモノづくりの魅力を知ってもらうために、機械、工具、大型の部品から歯ブラシやブロックなどの小型のプラスチック製品等に至るまで、その全てをMADE IN HIGASHI OSAKAの製品で組み立てた「ピタゴラス装置」を制作し、連続したユニークな動きの動画を作成、あらゆるモノが東大阪市で作られていることも同時にアピールし、「モノづくりのまち東大阪」の周知に努める。

所属	経済部 労働雇用政策室	(続き)	No.	10
----	-------------	------	-----	----

改善すべき点	<p>企業・人材交流事業については、求職者売り手市場であることもあり、参加者は51人と41人であったが、参加企業及び参加者アンケートにおいても「大変満足」、「満足」が大半を占め、アウトプット指標を見ると概ね良好な結果となった。また、2回とも東大阪市外で開催された就職イベントであるが、これは市としても初めての試みであり、特に1回目については、その会場が結婚式場であったことや、企業の若手従業員の本音を聞けることなどから、メディアに取り上げられるなど話題性もある事業となった。</p> <p>ただし、メインターゲットとなる参加者が、これから就職活動を行う層、すなわち大学3年生以下の学生であったことから、アウトカム指標である就職者数の把握は結果的に困難となっている。(実績は、大学4年生及び既卒者のうちの就職者数)</p> <p>モノづくりのまち東大阪プロモーション事業については、平成28年度は動画を撮影し映像媒体に落とし込みを行った。効果的な使用方法やSNS等を通じた拡散を今後検討して行く必要がある。</p>
平成29年度に向けた改善策	<p>平成29年度以降は、7月24日にオープンを予定している布施の就活ファクトリー東大阪において、学生や卒業後3年以内の者、復職又は再就職を目指す女性をメインターゲットに、相談やセミナー等を通じて、その就職を支援していくが、企業・人材交流事業で実施した市外での合同企業説明会等も実施する予定である。</p> <p>布施の窓口については、若者就活応援事業と比較して、事業者の受託期間が長く、また事業者が交代した場合でも、事業内容に継続性があることから、継続した追跡調査を行っていただくことで、アウトカム指標である就職者数の把握に努める。また、モノづくりのまち東大阪プロモーション事業で作成した映像媒体については、SNS等での拡散を行うとともに、就活ファクトリー東大阪や他の手段を用いて周知に努める</p>

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	11
----	--------------	-----	----

事業名	モノづくり立地促進補助事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域やモノづくり推進地域(工業地域と多くの準工業地域を指す)において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

H28 決算	27,274千円	H29 予算	83,700千円	提言・報告 施策	I ③			
-----------	----------	-----------	----------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3件	3件	3件	A	目標②	/	/	/	/
実績①	6件	11件	—		実績②	/	/	/	/

事業実績 (平成28年度)	補助対象期間を3年から5年に拡大したこともあり、指定申請件数は着実に増加している。
改善すべき点	補助金の更なる周知が必要である。
平成29年度に向けた改善策	他部署との連携を密にし、補助対象となりうる企業の情報取得に努める。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	12
----	--------------	-----	----

事業名	住工共生のまちづくり事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	本市にとって重要な存立基盤の一つである製造業の集積維持や継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境の両立をめざす。	D

H28 決算	24,958千円	H29 予算	113,222千円	提言・報告 施策	I ③			
-----------	----------	-----------	-----------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	相隣環境対策支援補助金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5件	7件	10件	D	目標②				
実績①	3件	2件	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、両地区内の支援施策について検討を実施した。 立地促進補助金について、補助期間を3年から5年に変更するなど制度の拡充を行った。
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。 条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。
平成29年度に 向けた改善策	住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	13
----	--------------	-----	----

事業名	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪の1階、2階の展示場に市内企業が製品や技術を展示することに対して出展支援を行う。補助対象者は市内企業のみで、出展開始後2年間、月額出展料の3分の1以内で補助金を交付する。	B

H28 決算	593千円	H29 予算	318千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	-------	-----------	-------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	15社	15社	15社	B	目標②				
実績①	15社	12社	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	既出展企業8社。新たに契約を結んだ市内企業は4社。
改善すべき点	常設展示はMOBIOに視察に来られる方を対象に展示しているが、実際にどれだけ効果があるか不明。
平成29年度に 向けた改善策	今後の展示視察等の動向を踏まえ検討。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	14
----	--------------	-----	----

事業名	国内販路拡大事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内製造業のさらなる販路拡大を図るため、見本市などへの出展の支援を行う。	B

H28 決算	1,622千円	H29 予算	5,000千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	見本市等出展支援事業助成金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25件	25件	25件	B	目標②				
実績①	47件	24件	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	平成28年度については9月から2回にわたり募集を行った。募集期間を年度末近くへ延長するなど、幅広い展示会への出展支援をできるようにした。
改善すべき点	国からの交付金の決定が年度途中と遅く、十分な募集期間を設けることができなかった。
平成29年度に 向けた改善策	国からの交付決定の関係で、年度始まりから募集が行えなかったが、29年度から可能になった。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	15
----	--------------	-----	----

事業名	東大阪市技術交流プラザ事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	市内製造業の情報発信・販路開拓を支援するため、企業検索などができるサイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	B

H28 決算	4,684千円	H29 予算	9,310千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	サイト全体のページビュー数				指標②	技術交流プラザ登録企業数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	740,000件	760,000件	780,000件	B	目標②	1,180件	1,220件	1,260件	B
実績①	651,668件	645,176件	-		実績②	1,197件	1,210件	-	

事業実績 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行った結果、49社から新規申し込みがあった。 1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展を行った。 利用者にとって、より使いやすいサイトとするため、サイトリニューアルを実施した。
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 49社から新規申し込みがあったが、登録に至った件数は20社であり登録率が低い。 アクセス数が減少傾向にある。
平成29年度に 向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 未登録企業への積極的な広報 展示会への出展や広告事業による利用者数の増加 企業検索機能の最適化

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	16
----	--------------	-----	----

事業名	東大阪ブランド推進機構補助事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	東大阪市から誕生した製品の魅力を都市ブランドとして発信することにより、認定製品の販路開拓につなげるとともに、「モノづくりのまち東大阪」の都市イメージの向上を図る。平成29年度から補助金を廃止し、委託料に変更になった。	B

H28 決算	3,216千円	H29 予算	3,270千円	提言・報告 施策	I ④			
-----------	---------	-----------	---------	-------------	-----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	ブランド認定製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	140製品	145製品	150製品	B	目標②				
実績①	143製品	137製品	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	1. 東大阪ブランド推進機構の理事を中心に、会員定例会などを実施。 2. 新規に5社6製品を東大阪ブランド製品に認定。 3. テクノメッセ東大阪などで東大阪ブランドのPRを実施。 4. 大阪商業大学の学園祭への出展。 5. 地域向けのイベントとして「モノづくりひろばHIGASHIOSAKA」を開催。 6. 「大切なだれかのために考えた第二回発明品アイデアコンテスト」を実施。
改善すべき点	会員企業の意思統一及び団体運営のための収入源の確保(会員数の増加)が課題である。
平成29年度に 向けた改善策	平成29年度中に、事務局を移転する。また、認定についても、東大阪ブランド推進機構での認定から、市の認定へと変更し、ブランドの信用力・価値の向上を図る。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	17
----	--------------	-----	----

事業名	モノづくりワンストップ推進事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	販路系コーディネーターがモノづくりの現場へ赴き、販路開拓支援を行うとともに、市等の施策情報を提供する。また、技術系コーディネーターが発注案件を市内モノづくり企業へつなぎ、受注拡大を図る。	C

H28 決算	21,551千円	H29 予算	23,691千円	提言・報告 施策	I ④	IV ①		
-----------	----------	-----------	----------	-------------	-----	------	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

指標①	相談対応・企業訪問件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	5,550件	5,550件	5,550件	C	目標②				
実績①	5,147件	3,769件	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	各コーディネーターが市内企業を訪問し、市・府・国の施策を紹介、申請サポートをするとともに企業の抱える課題・ニーズの掘り起こしを行い、適切な支援機関へつなぐ等のサービスを実施。また、さまざまな発注案件に対応した企業を紹介した。
改善すべき点	小規模企業等が抱える課題解決につなげるため、企業の現場に赴き、市などの施策情報をより一層提供していく必要がある。 市内の技術力について把握できていない部分がある。
平成29年度に 向けた改善策	企業訪問相談員を新たに配置し、小規模企業を中心に精力的に訪問を行い、課題解決に向けて市などの施策情報の提供などを行う一方、販路系コーディネーターは国内外への販路開拓に特化して支援を行う。 技術系コーディネーターによる補助金採択企業へのフォローアップ等を行うとともに、様々な機会を通じて市内企業の技術動向の把握に努める。

所属	経済部 商業課	No.	18
----	---------	-----	----

事業名	商業振興コーディネート事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。	A

H28 決算	4,500千円	H29 予算	2,900千円
-----------	---------	-----------	---------

提言・報告 施策	Ⅱ①	Ⅱ②	V①	V②
	V③			

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	コーディネート希望する商店街からの応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2団体	2団体	2団体	A	目標②				
実績①	1団体	2団体	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)
 モデル地区コーディネートについては、平成27年度に引き続き、若江岩田商業集積地(岩田本通商店街および若江岩田きりプロジェクト)を採択し、商店街の垣根を超えた若手店主の新たな活動を支援し、商業集積地としての活性化を図った。
 個店支援コーディネートについては、2019年に花園ラグビー場が会場となるラグビーワールドカップ2019TMを契機とした経済活性化を見越して、ラグビーに因んだ食品の製造小売を行う商店を集め、情報発信や効果検証等を行いながら、東大阪市の新たな名物となる商品の発掘および個店の活性化に資する調査を行った。

改善すべき点
 グループ等で活動をするにあたり、ノウハウの蓄積等を見据え、イベント運営や事務に係る部分をマニュアル化した。これを活用することも含め、コアメンバーへの負担の偏りを軽減し、自立した組織運営を支援していく。

平成29年度に向けた改善策
 これまでの成功事例や成果情報を共有するなどにより若手事業者や意欲のある店主グループが連携し、具体的な事業実施につなげることができるようサポートを行い、地域商店街の自主的な活動につなげたい。

所属	経済部 商業課	No.	19
----	---------	-----	----

事業名	地域密着型支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	C

H28 決算	14,523千円	H29 予算	17,530千円
-----------	----------	-----------	----------

提言・報告 施策	Ⅱ①		

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	25団体	25団体	25団体	C	目標②				
実績①	20団体	19団体	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)
 市内商店街、小売市場などの団体が盆踊りや夜市などのイベントを行う場合、にぎわいづくり事業補助金を交付する。
 ・東大阪布施商店街振興組合など19団体へ交付

改善すべき点
 実施団体の数を増やすとともに、事業実施にあたっては来店者の増につながるような工夫について検討してもらえるよう周知したい。

平成29年度に向けた改善策
 商店街事業の魅力を発信し、来客を呼び込むツールとして広く周知し、商店街への一層の支援を図りたい。

所属	経済部 商業課	No.	20
----	---------	-----	----

事業名	観光振興事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRに取り組む。また、東大阪物産観光まちづくりセンターなどと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。	A

H28 決算	11,972千円	H29 予算	9,890千円
-----------	----------	-----------	---------

提言・報告 施策	V①			
-------------	----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	2件	2件	2件	A	目標②				
実績①	2件	2件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	市内飲食店を中心とした観光関連団体が実施する「バル」イベント(布施えびすバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル)に対し、観光振興補助金交付により支援した。								
改善すべき点	特になし。								
平成29年度に 向けた改善策	DMOの設立に伴い、観光振興事業補助金を終了し、平成29年度においては地域密着型支援事業という大きい仕組みのなかでの支援を実施していく。								

所属	経済部 商業課	No.	21
----	---------	-----	----

事業名	元気グループ推進支援事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	商店街組織を構成する事業者が、他地域の事業者やモノづくり企業、農業者などと連携して、地域商業を活性化させる取り組みに対し、コーディネーター派遣により地域商業の経済的機能強化を図る。	A

H28 決算	980千円	H29 予算	-
-----------	-------	-----------	---

提言・報告 施策	V①	V②		
-------------	----	----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	コーディネートを希望する意欲的な事業者グループからの応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1件	1件	1件	A	目標②				
実績①	1件	1件	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	平成27年度引き続き、布施駅北部三番街・四番街商店街の若手店主を中心とした、布施三・四会を支援した。平成28年度は、平成27年の座学研修や合意形成を踏まえて、商店街の恒常的な顧客づくりの第一歩として、子育て世代層を対象とした商店街スタンプラリー「ブランドリー似顔絵クエスト」を実施した。								
改善すべき点	特になし。								
平成29年度に 向けた改善策	本事業で得た成果物なども活用し、今後の自立的な活動をすすめていただけるよう支援していく。(元気グループコーディネーター事業は平成29年度より商業振興コーディネーター事業へ統合)								

所属	経済部 商業課	No.	22
----	---------	-----	----

事業名	個店経営者育成セミナー事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	<p>事業者や創業予定者を対象に「東大阪あきんど塾」を開講する。商店経営のあり方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣し、売上向上の為のアドバイスを行う。</p>	B

H28 決算	936千円	H29 予算	1,028千円
-----------	-------	-----------	---------

提言・報告 施策	V②	V③		
-------------	----	----	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	あきんど塾受講者満足度				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	90%	90%	90%	B	目標②	/	/	/	/
実績①	73%	80%	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<p>平成27年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施した。商店経営の概略やマーケティング、マーチャンダイジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。カリキュラム内容と参加人数は次の通り。 ①商店経営概論(7名)②自社のコンセプトと顧客選定について(4名)③自社・自店の強みの再確認(5名)④競合分析(6名)⑤セールストーク強化(6名)⑥商品展開(8名)⑦販売促進(6名)⑧顧客をリピートさせるしくみ化(7名)⑨経営者がお金を残すための経営管理(7名)⑩事業計画発表(7名) 合計10回の講義に加え、臨店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。</p>								
改善すべき点	<p>これまで論理中心の講義内容であったので、店舗経営の実践に活用できる内容も盛り込めたが、受講生が定員に満たなかったことから、より効果的な広報手段を検討し、受講生の確保に努める。</p>								
平成29年度に 向けた改善策	<p>平成28年度受講生アンケートを踏まえ、受けて良かった講義として挙がっているものをカリキュラムに盛り込むとともに、店舗経営で役立つ実践編のテーマも加える。 経営改善や創業に意欲的な受講生確保のため、より効果的な広報手段を検討する。</p>								

所属	経済部 商業課	No.	23
----	---------	-----	----

事業名	空き店舗活用促進事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	<p>商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、補助金の交付やアドバイザーの派遣を行う。</p>	A

H28 決算	3,921千円	H29 予算	8,401千円
-----------	---------	-----------	---------

提言・報告 施策	V③			
-------------	----	--	--	--

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	3件	4件	4件	A	目標②	/	/	/	/
実績①	3件	5件	-		実績②	/	/	/	/
事業実績 (平成28年度)	<p>空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力をも高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(継続・飲食店) ・商店街の魅力をも高める店舗：八戸ノ里商店会(継続・物販) ・商店街の魅力をも高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(新規・飲食店) ・商店街の魅力をも高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合(新規・サービス業) ・商店街の魅力をも高める店舗：瓢箪山中央商店街振興組合(新規・物販)</p>								
改善すべき点	<p>補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか見守るなど、継続した店舗運営に向けた支援が必要である。</p>								
平成29年度に 向けた改善策	<p>従来の改装費補助、賃借料補助に加え、開業店舗の来街者への認知度向上や誘客促進による安定的な経営のための布石として、開業店舗の積極的PRのための広告経費を補助対象とする。</p>								

所属	経済部 農政課	No.	24
----	---------	-----	----

事業名	都市農業活性化農地活用事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。	A

H28 決算	32,261千円	H29 予算	33,000千円	提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ③	Ⅵ①
-----------	----------	-----------	----------	-------------	----	----	----

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

指標①	大阪エコ農産物栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,300a	1,350a	1,400a	A	目標②				
実績①	1,924a	3,138a	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	申請件数77件 補助金交付額32,261,000円								
改善すべき点	H28年度は目標を上回りましたが、農家、耕作面積の減少が続いておりますので、H29年に向けても実績が維持できるようにしていきたい。								
平成29年度に 向けた改善策	農業の振興及び農地保全に繋がる様、補助金交付実施基準を見直し、改正する。								

所属	経済部 農政課	No.	25
----	---------	-----	----

事業名	ファーム花いっぱい咲かそう事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。	A

H28 決算	3,364千円	H29 予算	3,000千円	提言・報告 施策	Ⅲ③	Ⅵ②
-----------	---------	-----------	---------	-------------	----	----

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

指標①	花の栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	A	目標②				
実績①	47,334㎡	56,581㎡	-		実績②				
事業実績 (平成28年度)	申請件数32件 補助金交付額3,364,000円								
改善すべき点	目標達成に向けてより一層、本事業の農家への周知を継続して進める。								
平成29年度に 向けた改善策	農家へ向けた広報をより一層、行って本事業の農家への周知を継続して進める。								

所属	経済部 農政課	No.	26
----	---------	-----	----

事業名	農業啓発推進事業	平成28年度 目標達成度
事業概要	安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。	A

H28 決算	4,150千円	H29 予算	4,150千円
-----------	---------	-----------	---------

提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ④	Ⅲ⑤
	Ⅵ①	Ⅵ②	Ⅵ③	

第2次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

指標①	取組事業参加人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H28達成度		H27	H28	H29	H28達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②				
実績①	1,122人	1,100人	-		実績②				

事業実績 (平成28年度)	ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。
改善すべき点	ファームマイレージ運動の推進により、実績が上がっていますので、今後も実績が上がるように継続していきます。
平成29年度に 向けた改善策	より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め・高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。